見るにし

追して午後四時沙洋鎮東方約二十粁王家境南方の線に進出せり然攻撃を續行し、廿六日午後一時完全に黱門口一帶の高地線を占領、更に敗敵を急然攻撃を續行し、廿六日午後一時完全に黱門口一帶の高地線を占領、更に敗敵を急 【漢口廿七日愛國通】中支軍午前十一時發表=廿五日聖人檄を奪取せるわが軍は依

占領

我が强硬態度に狼狽

二十九百七

(-)

たされ、その間を工部 が往き來し物々しき風が生き來し物々しき風が生き來し物々しき風が、共同租界の境界となっ リカラは兩側の道は殆ど

現形記し

の再現

此處であの

上部局遅まきな

に本年度聯

とせず、これが選定には一とせず、これが選定には一らしめるべく暫行協議會要により協議會開催化表とならした。 本年度に民衆代表となった。 大年度に大力協議會開催化表となった。 大年度に於て聯合協議會要を開催して高の場達を作成し、分會部は必要に應じ官民憲で職合協議會を開催し民意の場達を撤廃。

皇軍掩

# 協議會

日七十二月二 市編發 卷 行 話 所

之 <sup>宋</sup>三二問 五五五 介勇忠〇五社 - 鍵鍵鍵間

奉天省實

敵死體中には四

安副

會科長 東省社會科長 康 昌 愛

省會計科長

省實業廳事務官

大省監理科長

運河を改修 聯ヴォル ガ

する警である た藤松海軍中 た藤松海軍中 た 佐も同船で闘朝

南、江北相呼應して連續的大兵地帶警備の兼富を奇襲し江延撃除匪賊の集富を奇襲し江延撃除匪賊の集富を奇襲し江

四周の新匪に猛撃を加へ更に の襲果を收めた、更に江南に に繊維を加へてそれない多大。 の戦果を収めた、更に江南に がては岳匹、通城全面の敵匪

社会反撃を加へた、敵 関に耳つて逆襲し来つ 関に耳つて逆襲し来つ が関係を加へた、敵

白系露人の謝恩 電楽と舞 たなつた、 たなつた、 たなつた、 たなつた、

安全な避難所を建設せんとす と同時にダムを造り、また運 が会議に応水の深い創船の 「京城國通」當地への情報に では目下ヴォルガ=寮海間運 河の改修案を練りつゝあるが 河の改修案によれば同運河の幅 は水深淺く僅かに河船しか航 付出来ない有様である、今回 自は廿米を擴張して百乃至百 日本来を映りつゝあるが

武漢占領地區內

**立**特宗工造釀寺五八



界氏(技師)同 大郷氏(教員)同 大郷氏(教員)同 東太郎氏(熱河省大長) 東太郎氏(満洲取引所 重太郎氏(満洲取引所

電話③ 五四四九年新京朝日通三十三番 ③ 五 四

古



下の廿五、九十五、八十二の の軍が湯恩伯隆 副縣長懇談會 あずから四日間開催 各師よりなる。とか判明して がはチェッコ機銃一、小統三 が変五〇、手榴弾一六〇を鹵獲 の 9 聯の必死の努力が譲ばれて本年八月から着工される管工を収入り、工費七百萬留を以

眼に合ふレンズは設備を智識の 完備せる専門店へ 11 83 4 電話 (3 一一合六後 電話②ニハ五 大型 大型 勝柳 川 士 海 菱 士 黑 田 實 去 土 民刑事訴訟顧問及鑑定貸家貸地管理民刑事訴訟顧問及鑑定貸家貸地管理 院長 医新宗駅前 門洗張の店食 医学博士

入統領辭職聲

禽

**恵門医学士** ず博士 小 橋 茂電③三元元の(受び)三元七 祝里 一 髙

【漢ロ廿六日漫興通】敵の虚 物第五戰區總司令李岩敷に富面の を極いた我一齊港繁に富面の が第五戰區總司令李岩敷に強身、詳報に よれば、われに近接する安陸 よれば、われに近接する安陸 よれば、われに近接する安陸 よれば、われに近接する安陸 はれば、おれに近接する安陸 はれば、おれに近接する安陸 はれば、おれに近接する安陸 はれば、おれに近接する安陸 はれば、おれに近接する安陸 はれば、おれに近接する安陸 はれば、おれに近接する安陸 皇軍の奇襲進撃 敵第五戰區後 はた敗残部隊であり、わが軍事の別へ各軍約計箇師を擁し 東に西北側背後には軍事委員 の上の各軍約計箇師を擁し 東に西北側背後には軍事委員 が、敵第一線部隊は事變以來 かが猛撃下に打ちのめされ續 が、政策・に打ちのめされ續 し混亂に拍車をかけてゐる、 なほ情報によれば、荆州、宣 自にあつた王讃緒軍は蔣介石 の指令によりわが西進阻止の ため第一線に向け西進中セい はれる

去る廿一日 の架 

【東京國通】

整済支える ・ しめた、又麻城附近の我軍は ・ 世日以来麻城東方の峻峰族磐 ・ 一力、〇〇〇、追撃砲彈二〇 

下在佛のアサニア人民殿的 た行ひジュネーヴに近い佛館 で行ひジュネーヴに近い佛館 人民職線政府の交職抛棄 なつたが

往來

本水本龍は、(金融合作社) 和田米雄氏 (金融合作社) 同 一川村英男氏 (商) 同 一川村英男氏 (商) 同 一川村英男氏 (商学) 中央ホテル 本島崎賀氏 (商学) 中央ホテル 本国事野路氏 (教員) 同 一川村英男氏 (教) 日 一川村英男氏 (教) 日 一川村英男氏 (教) 日 一川村田田 (教) 日 一川村田 (教) 日 一川田 (教) 日 一田 (

の日

協和會運動に重點縣もとよ り住し、たゞ獺餘の縣目ら輕

一四本願寺西隣入

朝日通深町病院前電四四八〇 崎商

時近6分以午後配達

五七

一量(3)話電

本髪値上げ洋髪は合理的

團員

**佳節午前九時** 彰式は三月一

▲ 満州石油總會午後二時より ▲ 満大入學願書締切 於ヤマトホテル 於ヤマトホテル 於中マトホテル

(日八日)

主なる放送

警管下名譽の表彰 野行すること、な時から首都警察 時から首都警察 といな といな

ら一千名

S張は五圓増し)、一 婚禮衣裳着付(當 婚禮衣裳着付(當

一、一般管楽狀況 一、一般管楽狀況 一、一般管楽狀況 一、一般管楽狀況 一、一般管楽狀況 一、一般管楽狀況 一、一般管楽狀況 一、一般管楽狀況 一、一般管楽狀況

店では女給二十人に對する貸 興金が四千五百圓、他も大同 小異で基だしいのは一人千圓 以上の偕金を持つ女給も敷名 居る 四、サービス 女給の賣上、指名の最高なる なのには月末に賞金を出すた

姜匪

討伐縣は鹹江縣廿里下

建國以來樂祭補助機關として 地方社會の安寧保持に貢獻し た功は多大なものがあったが た功は多大なものがあったが

者について設衡ル⇒と 駆に於てもかねて管下の ですることゝなり、首型

へて北方に潰走せしめた。 間の後これに徹底的打撃を異 の後これに徹底的打撃を異

本七・四〇講演「建磯週間に 本八・〇〇ピアノと管絃樂( 東京)レオシロタ 4八・三〇 ラギオ時旨護本(東京) 4八 四〇連續ラギオ小説(東京)

版 ても第一日 (互湾日) の十七 では長春街長春區事務所に於 では長春街長春區事務所に於 に乗り出した【寫眞は建國週間のトップを飾る施療班の活 輝」

三月一日から各官廳會社では 東されるので之に伴ひ交通會 社でも同日よりラッシュ・ア 明1の運轉時間を三十分づゝ 操り上げることになつた、な 培加する観光客のために従來 午前一回であつた觀光バスを 日接三月一日から午前九時と

規定以外の女 は決責年や へば決責年や なが表

へ給があるかと思 へ給があるかと思

カフエーの観痴氣騒ぎや、女最近中央通署保安保宛に市内

てゐるりは別

了

投書により

大本 のたところ左の如き報告とな では一、一般警、 では一、一般警、 では一、 一般警、 では一、 一般警、 では一、 一、 一般警、 では一、 一般警、 では一、 一般警、 では一、 一般警、 では一、 一般警、 では 一、 一般警、 なった

額の金銭を貸売る結果で

質與してゐる。某一年の引拔が旺んに

**稿本**散

とに決定近く社報をもつて發 宮店を同會に於て經營するこま要驛の小手荷物運搬、構內

一一回日

野に於ける手小荷物灌搬、賣業費捡出のため試験的に率天業費捡出のため試験的に率天

並に軍警遺家族として昭和十三年

可決したが、事 可決したが、事

表される管である「従来緊標 を例 新に驪しては往々にして不純 可決 しゆくをかふこと響からず昭 和十二年二月二十五日から三 委員 和十二年二月二十五日から三 委員 本天中側かれた地方委員 奉天 定規の全画大曹の新京案とし 三委

奉天〈荻原〉安東(藤平)の委員附託となり新京(加藤) 全員附託となり新京(加藤) ・ はいので特別 ・ はないので特別

主として帝國在郷軍人傷痍委員によつて

を建國週間とし全滅三千五七日より三月三日迄の五日 とはなり三月三日迄の五日

迄の五月

**密案解決四月** 

驛構內賣

軍警遺家族に朗報

## 亞新秩序建設

## 橋本本部長今夜講演放送 週間中

大大な全國一齊に舉行する 改組結團式並に少年團の結團 改組結團式並に少年團の結團

|種々行事が執り

を總動員して古新聞、古雑誌を總動員して古新聞、古祖寺區の傷病兵及び應召軍人の病院の傷病兵及び應召軍人の 毛屑、綿屑、空罐、銀紙、廢品

水ぬるむ窓外の淺春をよそに 一階梯の難闘を必死となつて 一階梯の難闘を必死となつて

企

始

まる

國軍に損害なし、自傷多数の見込、

飛躍競技新記錄

增加

大二百名を二百五十名に滑員 して、而も入學試驗は日答試 計つたので新京四中等學校入 學志願者は千四百二十四名の うち千二十名まで入學が許可 されることになり、せまき門 から締め出される兒童は率か から締め出される兒童は率か

【札幌関通】札幌郊外大倉シ 下、高秋宮殿下御来道記念ス 下、高秋宮殿下御来道記念ス た十九米の大記錄を出した、 は十九米の大記錄を出した、 長不四記錄は世界第五位、現在 世十二米を遙かに凌駕する最 で今シーズ選手の 大変である。

學難緩和

かり京中三百名募集を二塁級がは中等塁校の學級増加をはでは中等塁校の學級増加をは

されることになり、せまき門から締め出される見童は率かから締め出される見童は率からなったが、 大の兩日に ふるひ落されるものは四百四 おるひ落されるものは四百四

全米室內陸競

1111

世界新記錄續出

羽衣町

滿鐵社員消費

【ニューヨーク二十六日 通】第五十一回全米室内陸上 で、一方の世界新記録を樹立したほかの 世の大力をで、一方の大力をです。 一二十九野歌記録を樹立したほかの 世界新記録を樹立したほかの 世界が一方の大型の で、二千九百米線を で、二千九百米線が の世界新記録を で、二千九百米。 で、二十六日發明 で、二十六日發明 で、二十六日發明

二十七日から二日間全瀬一窓 る至瀬中等學校の入學試験は れるが、



昭和十四年度議鐵北滿産業開昭和十四年度議鐵北滿産業開大日本前九時新京東沿長中島四十七日中前九時新京東沿場投票。 一大。哈爾濱、牡丹江、吉林を を 大、哈爾濱、牡丹江、吉林を 大、哈爾濱、牡丹江、吉林を 大、哈爾濱、北丹江、吉林を 大、哈爾河、北丹江、古林

平島支社長視察

滿鏡弘報係西尾氏轉出 ・

着圓右、、 訪.

福岡縣八幡市中本町二丁月渡 建髪店に勤めてゐた女美容 が京に向つた形跡があるので 本が京に向つた形跡があるので なサ二日から無闘家出して、 新京に向つた形跡があるので ながいら二とではませい。 女美容師何處? は二十六月の日曜日午後本社 は二十六月の日曜日午後本社 に貯金玉一個を提出これを國 に貯金玉一個を提出これを國 た、貯金箱の中には零細なお た、貯金箱の中には零細なお た、貯金箱の中には零細なお た、貯金箱の中には零細なお た、貯金箱の中には零細なお 

が、賞金欲しさに女給は必死 をなつて賣上、指名の多くなる を持ちを得めために客と同 がまた指名を得めために客と同 があり があり 葬儀五日廠葬で 故河鳥氏夫妻の

女子接客係 第一次

オランダ公使より駐米大使に ・ 一般では、 ・ では、 、 では

と定に告した。 を定さるでは、 をなし、その後間が、 をなし、その後間が、 をなし、本の機関は、 をなり、、 のの過程にも、 をなり、、 のの過程にも、 をなり、、 のの過程にも、 を大の質し、 をできる。 でるるが、同大使 として をなり、 、 高になる。 でるるが、同大使 として をなり、 、 高になる。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 滿洲國痛惜





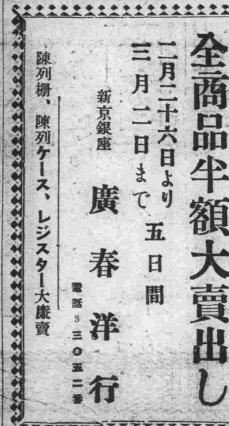








一月二十六日より に 半額大賣出











貸家を求む 、間數一二間以上の社宅向家屋、設備一風呂、煖房附、戸數一三十戸 旭自動車サービス部本人履歴書持会午後来談ありたしれ人履歴書持会午後来談ありたし 五名 一名 及徒弟募集 年齢十六歳より二十歳迄

希望者は履歴書持豪御來店 右優週す 右優週す 自 日 一、 取 賣 員 二三一名名名 の三機大の店

話(3) 五道

完備せる眼鏡店 中 初 無 報 病 院 眼 科 醫 院 院 眼 科 醫 院 限 科 醫 院 职 科 正確なる眼鏡は弊店より

演主 雄秀 鄉本●子禮 見北●二讓田江海

日封切

西東

松竹リアリズム映畵週間

てつもを熱情な常異が吉祈原鋭新の船大を『人の焔』の郎一隆木八 苦のちた人い者に材題を立對の場工大と場工業工手――たし出演

たつあで在存なかや華もにりまあ に劇代時の去過 と揺動たま―をスンマロるぐめを彼てしそ を馬龍

演主子みく山眞 田新

みほな川江

光松國高歌尾淺大

長春座が筆

◆記念公會堂五千名、六千十八屆 名、六千十八屆 百七十九名、一 百七十九名、一

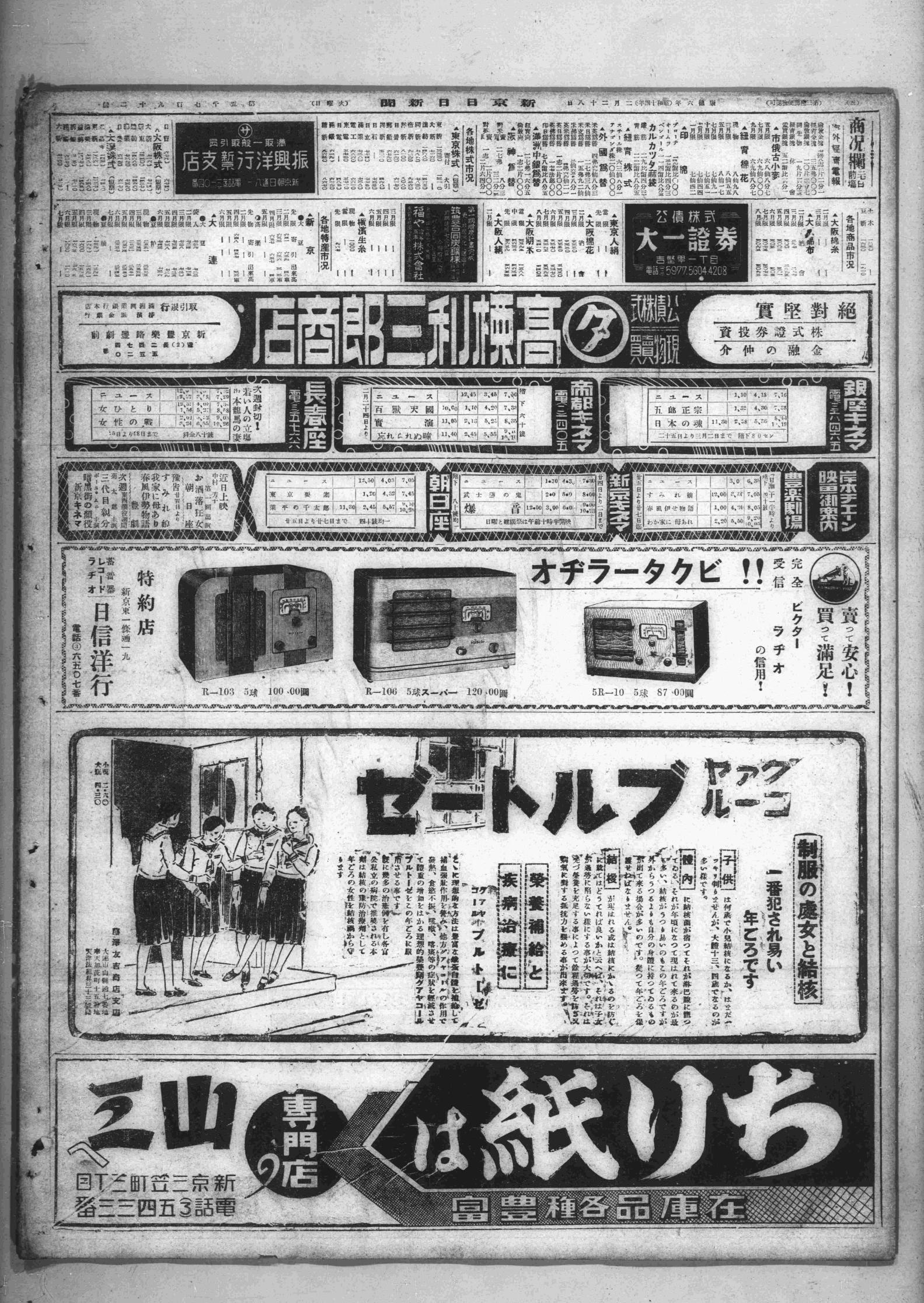
組番華豪力强の慢自與新 (間日四) 入場人員ご

胡多 當擔作製 其井藤 音錄地現 文 江 曲 作 計松 說 解 雅 PEKING の寶庫北京の扉が

い文化を回顧しつい新しく成

男秀本宗 監 晁 見伏 本

たれる戻取に兹が熱情的家作ご氣圍雰的術藝たるてれば失くし久に畵映逸獨 買すたまで見に客覧問 談軍從烈鮮る贈が峰高最の界術話たし驅馳を里萬線戰



の回答要旨

一、共同租界において輸送せ 一、共同租界において輸送せ をの如きものである

にも良民を廖

いてゐるが、十二章除のテロ行為2

北新徑の住民は極度に向の「日本軍に協力

買

は、れた漢水東岸地區の敵主陣地 会や漢水河岸敷キロの地監に 進出したが右陣地においてわ 北に抵抗した敵兵力は約五千 で遺棄死體により最に武漢陷 落に際し離散した一野忠軍の 一部を混じた四川軍であるこ

别

百

配達料 一本每 五

別

高

古店書堂松巖

(二四八三)電 六一通條一東京新

人事 注 來

本村田繁磨氏(滿日社長)二十七日來京ヤマ・ホテルへ
九里正藤氏(大連交通専務)
同

本対本傳次氏(商業)中央ホテルへ
全面出雲蔵氏(宮史) 窓乗ホーテルへ

家鎭頭の連

に肉迫した、この南北相呼敵要衝沙洋鎭東方十數粁の

を五撃干

ら不満足なる諸點につきさらに折衝を重ねることに意見の一致を見、有出時より陸海外の三省關係官會議を閉き工部局の回答を慎重檢討した結果、

わが要求各條項につい

相の承認を求めた上直ちに右の

趣旨を三浦總領事に回訓

はるを問はずのし抵抗した。

常さも

ン工部局参事會議長宛わが要求につき再通牒を手交せ

事宛回訓し來つたので現地陸 事外三當局は同日午後四時よ り約二時間に亘り協議の結果 中央の方針を體して廿八日中 に通告を發することとなつた

【頁二十刊夕朝紙本】

發行 新新京 新新京 別迎 料廣定本金售價紙等等 部別通 五 111

冀中包圍掃蕩戰

今次

【北京廿七日韓國通】

職に多くの困難を伴つたこと 動に多くの困難を伴つたことと 動に多くの困難を伴つたことと

上昆明經由重慶

陸鷲の 路各地を視察 数ロ間滯在、總の間滯在、總のでは、世八日午後ハボ、十八日午後ハボ、世八日午後ハボルトのでは、

職中の武信部縣は廿四日同地 南方十二キロ挿締鑚附近で獨 立第一師第三營の敵凡そ五百 を攻撃、南方に潰走せしめた

陸鷲隊出動

低空爆擊續行

パレン英首相は廿八日の下門によればチェントン特電によればチェン

每月廿八日

北支討 **設國通** 北支討 

主権を維持する ・スペイン人民戦線側に對 ・スペインの獨立ならびに 主権を維持する

次の通り

表するだらうといはれる、料面がホジソン英國代表に手が

酒

方西線漢京 況戰の區地

隊は敗走部隊で混亂を極めつ又山田中尉の率ゐる他の一編

本テルに第二回定時總會を開 一切決、高嶺、難波の二氏が理 可決、高嶺、難波の二氏が理 事に就任した

います今すぐに御下命下さい

廿八日は白蘭の謝恩奉仕デーで御座

酒のうまい季節こなりました。

本月

電氣協會總會

新任駐支佛大使

部隊の戦果・ ☆ 会加總裁数 八十五機へ 主要爆撃地・二十九ヶ所へ 主要爆撃地・清河、土家荘 敬前着陸地・清河、土家荘

【北京廿七日酸國通】去る四

る三部隊の總職果は次

電包閣掃荡戦中京漢線側より 東進した〇〇部除の十日まで の戦果懸計左の通り 直要が健三〇〇、浦房五九 直要が健三〇〇、浦房五九 直要がで五、青龍刀一〇 四、小銃弾四、八〇〇、手榴 四、小銃弾四、八〇〇、手榴

快な爆撃を敢行

連部隊を先頭に漢水河畔の敵要価臼口鎖、沙洋鎖の線に向って獲出中のわが軍は十七日中には漢水東岸に達し同河東中には漢水東岸に達し同河東 口。沙洋を制壓

英、佛兩國政府 愈よフ政権

府として承認することになつ の政府は愈々廿七日午後フラ の政府は愈々廿七日午後フラ を承認

佛印當局と打合せ

第二十五回

大經 大經路八三ノ 吉野町銀座新道角 B 大 丸 丸 通市 場外

配

電話②一七〇七

行

店

古野

町市

0

D

滿洪防共協定參

で更に息をも に在る、一方廿六日餘家店(隨雁門口の隘路 ) おる沙洋鎖は既に目睫の間

御報念上

廿八册揃

日午後三時選に餘家店北方の據つて抵抗する敵を撃破し同

無ひ、更に軍事施設を木葉微無ひ、更に軍事施設を木葉微点に 原に痛爆した、同地一帶の敵 原は土氣全く沮喪し我荒鷲軍 の変を設見するやわれ先にと が変の中に飛び込み遂に一設 をした。同地一帶の敵 では土氣全く沮喪し我荒鷲軍

○○部隊は一帶の波狀高地に 縣東北方州キョンを占領した

原署名國より夫々通

を促進し、日滿支航空関係の 聯緊協力を一層緊密ならしむ ると共に、列强航空路の對外 進出に對應し、わが関航空艦 送事業の飛躍的發展を圖るた めには官民相協力して一大関 策會祉を設立するの要ありと し、先級來航空局に於ては半

に通報された筈であるが、 ンガリー政府に は故に完全一

通信省では大部分を

選事業の興隆

官学民の大日本航空株式會社 生提出する運びとなつた、そ に提出する運びとなつた、そ に提出する運びとなった、そ

人の捜査ならびに検査は従来通り一層の努力をなす。 支那人の検索は従来通り置 変那人の検索は従来通り置 施すると共に現在の情況を 一、工部局日本警察験員の缺 目し入を得次第直ちに補充 する

一、共同租界において輸設 左の如きものである 左の如きものである

令の要項は

よたも良民を廖

悪虐極る抗日

人共に許さい

サ七 人の生首三箇(女ご名、男一知き 路角の甲新紡績の垣根に支那為は 即ち滬西地區プレナン路華論

等は良民の生育を曝して住民てゐるが、住民の話によれば北新徑の住民は極度に恐怖し

たことが判明した

かへ逃亡し

雨翼の鼬況は著しく進展し助 氣天を働くものがあり、南北 気でを働くものがあり、南北

悪路は沼田の如き泥濘と化

先を争つて續々漢水を渡河西西方地區の敵軍は一部兵力を選し主力は沿岸の民船を徴發

とが判明した

部隊は廿七日早くも漢水河であり、また左翼進撃の○

五千

破四川軍

線に肉迫した、この南北相呼の敵要衝沙洋鎭東方十数粁の

六日午後三時余家店北方の敵と照婚せしめつゝある、即ち廿残の敵第五戦區将兵の心膽を

關

避を占領

功するや更に息をも に在る、一方廿六日餘家店(隨阻れた雁門口の隘路)」 ある沙洋鱝は既に目睫の間

○○部隊は一帶の波狀高地に

據つて抵抗す

日午後三時遂に餘家店北方の據ので抵抗する敵を撃破し同

取引續き敗敵を西方に追撃中敵の中心陣地一八五高地を奪

「日本軍に協力す

發國 通]

### 日日 月日 【頁二十刊夕朝紙本】

には不満の點多し

五五五治拾銭銭銭関

介勇忠〇五社 阿派科 3 楽町二 

果敢 し歴次に豆り空前で 三部隊の精鋭は連であつた點からは

△參加總裁數 八十五機△ 主與爆擊地,二十九ヶ所△ 主與爆擊地,二十九ヶ所△ 主與爆擊地,二十九ヶ所△

日口。沙洋を伽壓

に至る三部隊の總職果は次

部隊の戦果

「漢ロ十七日發展通」目下快速部隊を先頭に漢水河畔の敬速部隊を先頭に漢水河畔の敬 要個日口鎖、沙洋鎖の線に向 中には漢水東岸に達し同河東 中には漢水東岸に達し同河東

翼中包圍掃蕩戰 駐支佛大使コスム氏は赴任に 新任

駐支佛大使

英、佛兩國政府

愈よフ政権

佛印當局ご打合せ

電子 (北京市七日 (北京市七日 ) では、京市七日 ) では、京市七日 ) では、京市七日 ) では、京市七日 ) では、京市七日 うでは、京都 等は、地上 部隊の類かしい、時果に貢献するところ 多大なものがあつたが、これは今文の事變が敵の遊撃戦により索の事變が敵の遊撃戦により索がある。 總戰果 陸鷲の 輝く ハイに立寄り数ロ間滯在、總路各地を視察、廿八日午後ハ のため廿五日サイゴン着、陸先立つて佛印當局と意見交換 古むの上昆明經由重慶一番り数ロ間滯在、總

陸海外二省會議決定

廿七日午前十

(北京廿七日發國通) 北支討伐狀況

際に引渡さる 部隊に對し抵抗したるも

ら不満足なる諸點につきさらに折衝を重ねることに意見の一致を見、有田外相の承認を求めた上直ちに右の趣旨を三浦總領事に回訓し、フ時より陸海外の三省關係官會議を開き工部局の回答を愼重檢討した結果、わが要求各條項についてはなほ不滿足なる點多々あるをもつてこ

リン工部局参事會議長宛

か要求につき再通牒

に関す

事件に闘す

西大條部隊は廿五日正午郎 東方の
脚縣で
重機を有する

でフランコ政府承認を離明す 電が、その際更にフランコ將 軍がホジソン英國代表に手な に手が

英メッセーザ内容として傳へ表するだちうといはれる、對

況戰の區地 北部隊の猛進撃に相呼應し我 「関を働いて大撃出動し、漢水 類を働いて大撃出動し、漢水 類との羅漢寺、沙洋鎮を奇襲

一、スペイン人民戦線側に對 とは避けるが、交戦繼續者 は断乎處罰する ・、スペインの獨立ならびに 主權を維持する られるところ次の通り

酒のうまい

季節こなりました、

本月

電氣協會總會

よりの急進に

歐は敗走部隊で混亂を極めつ又山田中尉の率ゐる他の一編

方西線漢京

加白 價 高

洋鎭に

肉薄

店 (二四八三) 電 六一通條一東京新

買 入 書堂松

時發列車で東上した 時發列車で東上した 時發列車で東上した

ムある沙洋鎮市街に巨弾を見 無ひ、更に軍事施設を木葉微 塵に箱爆した、同地一帶の敵 摩は士氣全く沮喪し我荒鷲軍 の姿を設見するやわれ先にと 敷蟻の中に飛び込み遂に一殺 転職射せず、我が機は五百米 

規則で縛られる

大經路八三ノー

酒銘

白巓釀造元

電話②一七〇七

廿八日は白蘭の謝恩奉仕デーで御座 います今すぐに御下命下さい 瓶 配達料 一本年 五 別

每月廿八日

低空爆擊續行

だ、廿六日パリ● ソアール郷 た、廿六日パリ● ソアール郷 た、廿六日パリ● ソアール郷

ンコ政府をスペインの正當政國政府は愈々廿七日午後フラ

ることになっ

日發國通

を承認

奉謝

第二十五回

吉野町銀座新道角 吉 野 B 大 丸 町市場 ナ 市 場 内

店

が断じて自分の犬でないさる友人、 愛想だから飯は食はせてゐる

所

だが▼専門獣醬の診斷によ

店

第一、目的 航空事業の發展 第一、目的 航空事業の報管及び他の航空輸送事業の報管及び他の航空輸送事業の報管及び他の航空輸送事業の報管及び他の航空輸送事業の報告を表示。

を輸送事業の興隆

テ

口

0

氏

0

密葬

たョサガ依るす堂 式に通報された筈であるが、 著名図よりペンガリー政府に を加めるであるが、 共陣容は茲に完全一

監補日本大使よりのも

官半民の大日本航空株式會社との立案を急いであたが、この程關係各省との協議も終了したので近く閣議を經で議會

間し合ひ防共締約日本

大使、イス大使、イス

滿洪防共協定參

原署名國より夫々

を促進し、日滿支航空關係の 職緊協力を一層緊密ならしむ ると共に、列張航空路の對外 進出に對應し、わが國航空輸 送事業の飛躍的發展を圖るた めには官民相協力して一大國 が成立するの要ありと し、先般來航空局に於ては半

たならば傳播率を少

か今少しく徳義を

配

大經

を減ず

給

行

加を正式に通報し來つた、書きハンガリー図の防共協定學

株式會社法

(-)

口

犠牲

氏

の密葬

添洲與政府の防共協定正式参加を視漏し合ひ防共協定正式参 が相宛就電を發した。これに 製しハンガリー外相は即日同 様祝電を寄せ滿洪兩國の同時 を別を記編し合ひ防共協定正式参

は左の通りである。

報された筈であるが、 所國の協定参加の旨正

陣容は弦に完全一

りハンガリー政府に

を促進し、日滿支航空関係の 聯緊協力を一層緊密ならしむ ると共に、列張航空路の對外 進出に對應し、わが國航空路 強事業の飛躍的發展を圖るた めには官民相協力して一大國 策會社を設立するの姿ありと し、先般來航空局に於ては半 官半民の大日本航空株式會社 状の立案を急いでゐたが、こ の程關係各省との協議を經て議會 したので近く閣議を經て議會 したので近く閣議を經て議會

正を呼び出して状況を聴かる 分の飼大ではないさる友人が 大のみ残して轉去したのでの 大のみ残して轉去したのでの ではないさる友人が

所

たが▼専門獣質の診斷に

雪ってかうい.

ることが出來や ふ事實がある

給

たならば傳播率を少く も飼主が今少しく徳義を雷

使が、イントの一体の関

たョサガ依るす筆

株式會社法

第一、自的 航空事業の愛展第一、目的 航空事業の標階及び他し航空職選事業を目的とし航空職選事業を行ぶるでの事等を行ぶる。

よ近く議會へ

延續送事業の興隆

滿洪防共協定參

原署名國より夫々

加を正式に通報し來つた、書きハンガリー國の防共協定参

(日曜火)

H又も良民慘殺事件があり附上又も良民慘殺事件があり附上、大人共に許さいる鬼畜の如きた人共に許さいる鬼畜の如き

近住民は極度に襲慄してゐる が吊り下げられてあり、 路角の甲新紡績の垣根に支那 路角の甲新紡績の垣根に支那

に向ひ「日本軍に協力 等は良民の生首を曝ー味の仕 であるが、住民の話に であるが、住民の話に であるが、住民の話に

民彼ばし

たことが判明した

はるから注意せ

わが進撃部隊勇士の

先を争つて續々漢水を渡河西 強し主力は沿岸の民船を微鏡 跳してのわが急進撃に京漢線

大陽山、洋虎嶺、豊田の世野山、洋虎嶺、豊田の神田・一日の東西南の峻峰の東西南の峻峰の東西南の地域の東西南の地域の東西

買

古

入

本村田鑿磨氏(満日社長)二十七日來京ヤマトホテルへ 九里正蔵氏(大連交通事務)同 同本和雪蔵氏(南菜)中央ホテルへ 一大田工蔵氏(南菜)中央ホテルへ 一大田工蔵氏(南菜)同 本田写良に(商菜)同 本田県民蔵氏(同文)同 本田県民蔵氏(商菜)同 本田県民蔵氏(商菜)同 本部田勇氏(協和建物)同 本部田勇氏(協和建物)同 本部田勇氏(協和建物)同 本部田勇氏(協和建物)同 本部田勇氏(協和建物)同 本部田勇氏(協和建物)同

んで構築さ

とが判明した

御報營上

廿八册揃

無実を働くものがあり、南北 無翼の體況は著しく進展し敗 極翼の體況は著しく進展し敗 大日午後三時余家店北方の敵 大日午後三時余家店北方の敵 大田午後三時余家店北方の敵 大田八五高地を投いた右翼 で猛進を續行し果敢なる夜襲

突破に成

るや更に息をも に在る、一方廿六日餘家店(随た雁門口の隘路 へある沙洋鎖は既に目睫の間

「漢ロ十七日登國通」 廿五日 漢水東岸地區の敵振點聖人樹 参郷取せるわが○○部騒の精 鋭は引續きその特側の峻鑚大 間の後廿六日午後一時遂に大

漢水河畔における最大

-後四時漢水河岸を去、一後四時漢水河岸を去

○○部隊は一帶の波狀高地に縣東北方州キロ)を占領した

無ひ、更に軍事施設を木葉微塵に痛爆した、同地一帶の敵塵に痛爆した、同地一帶の敵塵に痛爆した、同地一帶の敵塵に痛爆した、同地一帶の敵極に有機が込み遂に一發射線の中に飛び込み遂に一發

(国) 人間社會は法律や人間社會が生れるのではあるまいか▼例年國都の人々を るまいか▼例年國都の人々を

配

聞

忠虐極る抗日

H

東宛回訓し来つたので現地陸東宛回訓し来つたので現地陸中央の方針を體して廿八日中中央の方針を體して廿八日中中央の方針を體して廿八日中

大の捜査ならびに検査は從 来通り一層の努力をなす 支那人の検索は従来通り實 を消すると共に現在の情況を 一、工部局日本警察除員の缺 、工部局日本警察除員の缺

らの急進に

方西線漢京 況戰の區地

隊は敗走部隊で混亂を極めつ又山田中尉の率ゐる他の一編

本テルに第二回定時總會を開 は、康德五年度決算案を附護 は、康德五年度決算案を附議 で成立の二氏が理 では、原徳五年度決算案を附議

電氣協會總會

工部局當局

州、を互方を警収、行規布、回河水以に法職祭締共爲定さ一答 一の河水以に法職祭締共爲定さ一答

福相 因みに一九三八年七 員は人を得了する 受布工部局緊急係へ 大の如きもので、 共同租界

急條令の要項は

いて輸送せ

北地方は連日冷雨降りつよっの沈默を破つて去る廿三日を

線に肉迫した、この南北相呼の敵要衝沙洋鎭東方十敷粁の

部隊は廿七日早くも漢水河岸であり、また左翼進撃の〇〇

の四川軍

價

店

(二四八三) 電 六一通條一東京新

往來

高

别

百

堂松

時發列車で東上した 野發列車で東上した 三浦州廳長官は廿七日午後八年ぶ官東市長人選打合のためり實施豫定の大連市制改正に の 大連市制改正に の しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅうしゅう しゅうしゅう

八めによ

瓶

洋鎭に

0

回答要旨

る工部局當局

事件に關するわがt

印編發 刷前行 人人人 整報所京 水松十 局原,樂 介勇忠〇五社

門派 四二五人

陸鷲の 總戰果 輝く

**静脉に引渡さる** のは何人たるを間はず當該 の部脈に對し抵抗したるも 東型とも言ふべき職果を示し 連出に亘る偵察、爆響、指示、 連路等は地上部歐の輝かしい 一時果に貢獻するところ多大な ものがあつたが、これは今大 の事變が敵の遊撃戦により索 「北京市七日砂関通」今次の 東河とも言ふべき酸果を示し 西羅は近代立體酸における陸卒 東河藤、永持、鈴木各部験の 東河藤、永持、鈴木各部験の

の一般には一次では、 の一致を見、有田外相の承認を求めた上直もに右の趣旨を三浦總領事に回訓し、フら不満足なる諸點につきさらに折衝を重ねることに意見の一致を見、有田外相の承認を求めた上直もに右の趣旨を三浦總領事に回訓し、フ時より陸海外の三省關係官會議を開き工部局の回答を慎軍檢討した結果、わが要求各條項についてはなほ不満足なる點多々あるをもつてこ時より陸海外の三省關係官會議を開き工部局の回答を協議するとゝもに今後の措置につき本省に請訓し來つた、よつて外務省では廿七日午前十ては十六日右に關する出先各機關としての對策を協議するとゝもに今後の措置につき本省に請訓し來つた、よつて外務省では廿七日午前十

クリン工部局参事會議長宛

わが要求につき再通牒を手交せ

しめる

ことに決定した

翼中包圍掃蕩戰

て租界より放送せらるべし でも背器捜査のため公私の すべての場所に立入ること を得 、共同租界整要を提供したる者 でも背影を與へる者は で、許可を得ざる武器契は無可を得 で、許可を得ざる武器契は爆弾を所持せる者 で、許可を得ざる武器要に役立つ で、許可を得ざる武器要した。 を関しておいて許可なき で、許可を得ざる武器を與へら るべしはデロタスト活動に從事 を関はデロタスト活動に從事 を関はである者は相 にないて許可なき がにないて許可なき を関しておいて許可なき を関しておいて許可なき を関しておいて許可なき を関しておいて許可なき を関しておいて許可なき を関しておいて許可なき を関してもなる者は相 になる者は相

點多

二省會議

北支討伐狀況 は注目されるとは注目されるとは注目される

北支討

曾有

駐支佛大使

七日酸閾通〕去る四

のため廿五日サイゴン着、陸先立つて佛印當局と意見交換 立寄り敷口間滯在、總の記録の、世八日午後ハ へ使コスム氏は赴任に 対任 の上昆明經由重慶 總 後狀況= 薬源附近を連日掃 高中の武信部除は廿四日同地 南方十二キロ挿箭鑚附近で獨 立第一師第三營の敵凡そ五百 を攻撃、南方に潰走せしめた

東方の椰縣で重機を有する敵際は廿四日午後一時同地北方十九キロ葛莊附近で鹿鐘町大條部縣は廿五日正午邯潭西大條部縣は廿五日正午邯潭 匪を無條件にて歸順せしめ武

後助を必要とし のつた點から特 のつた點から特 に至る三部隊の總職果は次

如くである

部隊の戦果

日を期 

本 東進した〇〇部除の十日まで の戦果總計左の通り の戦果總計左の通り 成度品へ迫撃砲一、機関統 四、小統弾四、入〇〇、手榴 四、小統弾四、入〇〇、手榴 四、小統弾四、入〇〇、手榴

速部隊を先頭に漢 日口、沙洋を制壓 完全制壓に成功の見 國通 目下 鎖の線に向

第二十五回

愈よフ政権 佛兩國政府

を承認

佛印當局と打合せ

マステント カーラー ロンドン特電によればチエンバレン英首相は廿八日の下院でフランコ政府承認を整明するが、その際更にフランコ将軍がホジソン英國代表に手交した對英メツセーデ內容を發表するだちうといはれる、對表するだちうといばれる、對表するだちうといばれる、對

每月廿八日

(CO基地廿七日發國通) 五

陸鷲隊出動

北部膝の猛進撃に相呼應し我 演を飼いて大擧出助し、漢水 河岸の羅漢寺、沙洋鎭を奇襲

一、スペイン人民職線側に對 し一律に報復行為に出るこ とは避けるが、交職繼續者 は断乎處罰する ・スペインの獨立ならびに 主権を維持する

、スペイン人已践員

廿八日は白蘭の謝恩奉仕デーで御座 酒のうまい季節こなりました、 います今すぐに御下命下さい 本月

酒

別

配達料 一本年 五

蘭
職
造
元

酒銘

電話②一七〇七

大經路市場內 九 大經路八三ノー

洋 行

朝

B 通

店

吉野町銀座新道角

店

吉

野

町

なはちもは

歐亞防共强化と

國際政局の推移こ

の支那建設は終局的には財政決意を益々强化するに役立つ以外の何物でもない、亦第三以外の何物でもない、亦第三

東亚協同體の概然たる據點的 一環として面目躍如たる蔣洲 関はいよく 正式に歐亚の防 共協定に参加した、素より滿 共協定に参加した、素より滿

防土、 といふ全人類的 大楽のラインに 沿ふて不断の勇霊健闘を練けて来たことについては吸々するまでもない、満洲國がコミ

性 これによる英米佛の影響の基本を 英國がこれをその植民地において断行せんとすれば英國のいて断行せんとすれば英國のいて断行せんとすれば英國のいて断行せんとすれば英國の一般を損害は感々甚大であることを知らなければならぬ、假にこれ等の諸國が一切の利害にこれ等の諸國が一切の利害にこれ等の諸國が一切の利害によった。

說

防空施設

に狂奔し

民家强制取壞

重慶民衆怨嗟の聲を放

## 本を対する。 一般にはたゞ物質の品騰とか 一般にはたゞ物質の品騰とか のとして考慮されてゐるだけ で、今日の時局に處していか に自分だけの經濟生活に影響するも のとして考慮されてゐるだけ で、今日の時局に處していか に自分だけの經濟生活の原則 を打ち慣てて行かねばならぬ かといふやらなことについて は、なほ用意の足りぬものが ありはせぬかと思はれるので ありはせぬかと思はれるので あの。また現在必要とされる ある。また現在必要とされる。 ある。また現在必要とされる。

### 敵狀漸く活潑 のが猛進撃防衛に

[漢口廿六日發國通] 武漢陷 落に際してわが急追下に僅か に身を以て脱し全く四分五裂 の狀態にあつた敵は、その後 時日の經過と共に逐次抗戦力 を回復し最近再びわれに對應 する態勢を示すに至つた、即 ち武漢地區當面の敵狀は左の

電によれば、蔣政村は西南經|岡るため來る三月中旬重慶に|を開催するに決定した【香港廿六日變國通】重慶來|濟開發諸計畫の積極的成功を|關係者を召集、西南經濟會議

事館閉館式 された場合を強期し の構築を急いである 市、南澤縣中英の指揮である が沿岸より南昌に及びその が沿岸より南昌に及びその がなる山岳中常とのである がは 型固な縦深陣地を高いである を取出して数條なる山を右據 がである 型固な縦深陣地を構築し また十数箇師の大兵を集 となるを集 となる。

**割滿洲國公使館主事として赴設の運びになつたスペイン駐** 

松村参事官と落合ひ 流暢な日本語で 王明燿氏赴年西國公使館

任王 排

た、船中 大連税 臓 大連税 臓 大連税 臓

一政復古の前提=

府は廿

か就任か

ペイン赤色政徳没落と共にそれに代るフランコ國民政府今後の動向は各國注観の的となってあるが、最近プルゴスから歸英した英國政界有力者の語るところによれば、フラン語るところによれば、フラン語をところによれば、フラン

| 同有力者も左の如く てスペイン王政復古

は政府要路者、上下兩議員、 外交國などワシントン各界を 外交國などワシントン各界を のである。 は政府要路者、上下兩議員、 のである。 は他のである。 は他のである。 は他のである。 は他のである。

西南經濟會議

十六日午後五時頃東部関境日 北方州五粁附近)においてリ 北方州五粁附近)においてリ 北方州五粁附近)においてリ ル来つたので附近通行中の日 本兵は直ちにこれと変戦リ聯 兵一名を捕虜とし一名を射殺 した、わが方損害なし

三月中旬重慶で開催

告別式廿八日 齋藤前駐米大使

【京都國通】杭州灣敵前上陸

まず眠らずで押通す筈である。 になるほか鰤じて食はず飲眠をとるほか鰤じて食はず飲 にないないで食いが豚でないがいた。 にないでは、一貫の行事を三

母乳の悩み

即時解消せ

牧少將得度

灣の勇士

(ワシントン廿六日愛國通) を死した齋藤前駐米大使の告別式は廿八日午後三時から帝 別式は廿八日午後三時から帝 大使は生前知己が多かつただ大使は生前知己が多かつただ。 長官夫妻も名刺を置いて歸り 米國各地からもその後弔電が 本地の後弔電が 本地の後弔電が を選が 大使は生前知己が多かつただ 長官夫妻も名刺を置いて歸り の後弔電が のとな の後弔電が のとな の後弔電が のとな の後弔電が のとな 導師で得度式を擧げた、同少 ・ 本山智恩院を訪れ都芳管長の ・ 本山智恩院を訪れ都芳管長の ・ 本山智恩院を訪れ都芳管長の ・ 本山智恩院を訪れ都芳管長の

ニア大統領

國外退去を命ぜらる

特派員

め近く渡支する豫定であるや事變骸牲者の英霊を弔ふた 河野省二 鄉間之助

(後逸早くパリコ六日設國通)

主征産婆 入院在診時意

思はない、即ち日本は更或は領土の割譲を要求す

工の割譲を要求する意思に関家としての賠償

無豪に出馬することになつたの和平確立の一環としての檜の和平確立の一環としての檜の和平確立の一環としての檜の和手にある。 又第三次聯合委員會 國務院の

る始基である、中國にお中日二大民族の編祉を増

告

3

五〇

0 四 別はない、即ち日本は更生支 那との関交の調整においては 理さなし、各自文化の調整においては 環となし、各自文化の調整においては 環となし、各自文化の調整においては 環となし、各自文化の綜合に は協力し、又日満支の單一 に協力し、又日満支三國が失 なの存立の上に必要とする優 における所謂西部戦線の四倍 における所謂西部戦線の四倍 における所謂西部戦線の四倍 における所謂西部戦線の四倍

萬民衆の血の呼びを坐観する 学氏が「和平敦國」といふ四 に知られる軍界の巨星異郷 九三二年以來北京に隱棲してる政権が樹立され、又去る一として親日防共倒蔣を指標す

が式次第は左の通り

香りと味の をは東 常業所鐘樓北路東 人船町三丁目一東二條通り







集めたのがシエバー名、邸内にモンキー

へード、ドー ・ 中に取分け 中に取分け



-の様な名犬が數頭、 大の男共も恐れ、御用聞きは衣 して歩く有様に、又口さがなをなして韓耶の邊りを遠卷に

たりして韓大臣の功徳を稱へ に云はず犬苦勞だと云つてぼ をいたり、醉余の果て舞宅の 遅れた亭主共「あの犬があて 遅れた亭主共「あの犬があて

や卒業、一昨年十一月 民は昭和十年大連商 日代の鴨絲丸で鹿島立 優秀な成績で卒業 務課に勤務してゐ

日滿兩國の萬歳を三唱して式

四日出帆の鹿島丸で出發します、閉館は四月下旬頃でせら、抱負などお話するほどのことはありませんが今度の機會に一生懸命勉强し満洲頭の一員として本分を満分を一貫を、です、憧れの歐洲へ行けることは非常な喜びで胸が一杯です

| 承認とゝもにアサニア大統
で設表するだらちょ 佛國特便ベラー

**廿六日バリに歸還した、ベラス政府特使としてブルゴスをス政府特使としてブルゴスを** ル氏パリに歸還 眠武運長久祈願

れるが確開するにフランス政

闘して詳細報告を行ふといは ス、スペイン協定の内容にス、スペイン協定の内容に 京城府往十 週間にわた人斷食祈願を決 っといふ悲壯な祈願行事が半 して赤心を滿天下に披騰しや と時局突破の赤誠を籠めて

△御試用歡迎 (職

ログ進

スグレタ性能は既に御需要者各位より賞讃の

ラ

ザ

ーミシ

する取極めを確認、フランコ 善隣観係その他國交確立に闘 七日午後幽務會議を閉 田画 電の二八〇三 田画 電の二八〇三 厳まんじう

新京特別市景智胡同一ブラザーミシン製造株式會社

國産ミシ

0

選生活を行ふのではないかと レープに向つた、アサニア大 レープに向つた、アサニア大 リープに向った、アサニア大

政府の正式承認を決定す

聯兵不法越境

一名捕虜、

一名射殺す

長権昌飯氏は子弟教育のかたはら附近の教兵教化に献身的はら附近の教兵教化に献身的なが、時局の重大に深く思めから同院職員ならびに生徒で表す名と共に廿五日から向ふ一週間の断食不眠を敢行して皇軍の武運長久と時局突破の祈願を開始した、断食道場では中央祭壇に神宮大脈が奉敬され催院長以下一同は歌々には中央祭壇に神宮大脈が奉



見られる、尤もリバス氏は出 強にあたり大統領に代り「大 統領蘇職等は宋だ問題でない 」と言を濁したが、元駐佛ス ベイン大使アルボルノス氏は 本部とこもにアサニア大統領 美味德用品 【東京関通】田中法學部長辭任に伴ふ後任法學部長選定の 七日午前教授會を開いた結果 七日午前教授會を開いた結果 東大法學部長に 穗積重遠氏決定 屋問酒 行洋村西 來る三月一日より 營業時間變更

半鳥人の斷食不

)國産界の州

(2)五0

午後七 午前九時三十分

自

目

C

價

す

上

海銀行取締役會長

說

であり

★第二次六月八、九、一〇、一七、一二、一三、一五、一六、二〇、二一一七、一八、二〇、二一七、一二、一三、一四、五、六七、一八、二一、一二、一三、一四、二七、一八、二一、二二、二三、二一四、二七、二八、三〇、十月一

十二一 一六

一大連 一大四月六、七 一大四月二八 一大四月二八

三、八、九

大連株式

(多)中国

(短期) 後場 寄付 大り 電子の まつり まつり まつり まつり まつり まつり まつり まつり

頂

院

獨通

商

協

定

大展を包んで春蔵馬の構へ、大氣を包んで春蔵馬の構へ、早くも岩駒の調数に鞭を鳴らして戦捷景氣の競馬を煽つてある、その春の先陣を承はつて康徳六年度全瀬競馬のスケザゴールを破表された、これによると新京養馬は四月二十八日をトップに十月八日をもつて幕となる譯だがファンにはもう一攫十金の夢に迫るも

一三 本第二次八月二五、一 七、九月一、二、一 一〇 五、二七、三〇、一 七、八

九三

曾議室に於て開催 は廿七日午前十時 で

整髪料の

十月八二

五、二七、二八、六月三、四 ・ 第三次六月一〇、一一、一 ・ 一九、二〇 ・ 一七、三〇、十月二、二世、二 七、三〇、十月二、七、九 ・ 二〇、二七、九 ・ 三〇、五月六、七、八、一 ・ 三〇、五月六、七、八、一 三、一四

九、三〇、五月一九、三〇、五月一九、三〇、五月一四、一五

で研究審議を行う

判型·新発高

のト

《日曜火》

本川込締切三月八日 本川渡、大同大街を南走 東徳會館四つ辻を右折忠 東徳會館四つ辻を右折忠 東徳會館四つ辻を右折忠 東徳會館四つ辻を右折忠 東徳會館四つ辻を右折忠 東徳會館四つ辻を右折忠 東徳會館四つ辻を右折忠

、新京蟹科大學官制中改正 の件 に変物資の調整、米穀管理 重要物資の調整、米穀管理 重要物資の調整、米穀管理 重要物資の調整、米穀管理 重要物資の調整、米穀管理 重要物質のに負を増加 大産準確別の定員を増加 大産準殖場を設置し鱒等の 本年度より新規事業として 本年度よりなのよい。 本年度より新規事業として 本年度よりなのたい。

電電新同磁鐵五日同兩大東涌

の件の件を発行を

手形

交換過(ヨカ)

一、九九三、九三五、一四

回收期

だて妨害になると となるも自動車 はなるも自動車 はなるとを禁ず は、イその他薬物に は、大イをの他薬物に は、大イをの他薬物に は、大イをの他薬物に は、大イをの他薬物に は、大イをの他薬物に は、大イをの他薬物に

十込締切 三月八日 二時出設

すてとす、組织

組編成するよ自由と

デスター る防害行気 る防害行気

- トの補助を許さ口為を禁ず

決勝點に於て檢

なからうと思ふ、バランスシ 本年は政治情勢があまりにも懸態的である故こゝに余の觸れんとするところが自ら概括論に限られても黙君が失望される事は かったり マ通貨質

▲ 哈爾公 二九、三〇 一三、一四

月四〇大四

五月六、

七三

第九次國務院會議は世七日午 (後二時國務院会議室に開會、 一、1、科學に關する各種調查試 科學に關する各種調查試 の質を學でるため從來存し たる科學審議委員會の整備 たる科學等議委官制 たる科學等議委員會の整備 たる科學等。 たる科學等。 一、1、科學審議會官制 たる科學等。 一、2 大陸科學院會議は世七日午

學年の淨增及び班の編成替 に伴ふ學級數及び教授時間 に伴ふ學級數及び教授時間 の特 変素大學官個中政正 の件 授業及び學驗實習の內容充 資のため增員の要あるに因

奉土豆大蘇新鐘蒸東丘

し右同士香 大席行五兆 要上取日上

蒙最初

の鐵道

ウ

ラ

ウ

デ

厚和廿七日酸國通」 ソ聯のとして一昨年起工し、そのとして一昨年起工し、そののに進捗して昨年末に至りのに進捗して昨年末に至りが職部と極いた。これに外蒙心臓部と極いない。これに外蒙心臓部と極いない。これに外蒙心臓部と極いない。これに外蒙心臓部と極いない。これに対している。

捷景氣を反

競馬熱を煽る

滿競馬

3

JV

こして新しく編成替へ響省と、もに對蔣援助

三八年には八ペンス八分の七七に爲替の陽相場が生じ一九九年に爲替割當制の實施とへが多すぎる膝である、支那の

情ろう益 調に関余難に

留意されているが、

いれて調停の機ないれば和解の途はれば和解の途はかりであられないというであられない。

支持で正式に承認さ

車開

通をみ

議り込まれてゐる模様である 「大力」と、「大力」」と、「大力」と、「大力」と、「大力」と、「大力」と、「大力」、「大力」」と、「大力」、「大力」」と、「大力」、「大力」」と、「大力」、「大力」」、「大力」、「大力」」、「大力」、「大力」」と、「大力」」、「大力」、「大力」」、「大力」」、「大力」」、「大力

四の營業所といふ處、何を血迷だはて俺は轉居したのかなと狐につゝまれたみたい有様、生なになるな事質も無く、一體この情をんな事質も無く、一體この (一隐収者)

迎骶 稿 搜可不傷中

つたのか、人を料金不拂者扱
 ではあるに生産工力のでせら」位の返事、どまだ解政府の承認せぬところを出まれ、間違つたら間ではあるが、本質と中連電ではあるが、本質上変破とか何とか宣傳した方ではあるが、本質上変協定は、一大のサービスでも講習した方ではあるが、本質上変協定は、一大のサービスでも講習した方ではあるが、事質上変協定は、一大のサービスでも講習した方ではあるが、事質上変協定は、一大のサービスでも講習した方ではあるが、事質上変協定は、一大のサービスでも講習した方ではあるが、事質上変協定は、一大のサービスでも講習した方ではあるが、事質上変協定は、一大のサービスでも講習した方ではあるが、事質上変協定は、一大のサービスでは、一大の大工工力のの一に回を一大の情勢につき今一言を密に関するとは出来ない、、満洲國は一大の情勢につき今一言を密に関するとは、一大の情勢につき今一言を密に関するをも、今にして、一大の日本と支那の関は、一大の情勢につき今一言を密に関するをも、今にして、一大の日本と支那の関は、一大の情勢につき今一言を密に関すると、「大阪日本と支那の関い、「大阪日本と支那の関い、「大阪日本と支那の関い、「大阪日本と支那の関い、「大阪日本と支那の関い、「大阪日本と支那の関い、「大阪日本と支那の関い、「大阪日本と支那の関い、「大阪日本と支那の関い、「大阪日本と、「大阪日本と、「大阪日本と、「大阪日本と、「大阪日本と、「大阪日本と、「大阪日本と、「大阪日本と、「大阪日本と、「大阪日本、「大阪田、「大阪日本、「大阪田本、「大阪日本、「

國際航空輸 日本航空 で 職成せられるで 中和なるで 中和なるで

れ愛のにつん展たはに

たことを所 にはこの苦 に自然 に自然

る情にが惱

九月一

○情 一二八、九月 三五、一六、九月 一六、九月

「東京國通」来る四月一日から一億圓に増資し組織を擴大 た一億圓に増資し組織を擴大 た一億圓に増資し組織を擴大 が、エール、フランス、 に対象のルフト、ハンザ、イ タリーのアラ、リトピャ等の 支持で正式に承認されるもの 加盟手續終る

送 

科 人 婦 科線X児内 科病性外

定員を増加する 物を整備充實す 主韻及び熊岳城

ボケッ しも嵩らな 1 80 1

000 岩會議

-

臺官制中改正の

九七 場官制中改正の

**含社組合設立手續** 法律顧問及鑑定

研京事務所

H

新特法 京許律

特許商標出願審判

出十八番地ミヤ

陸軍大臣指定軍法會議縣雖 日 本 縣 疆 士 協 會 理 惠 衆 調 院 調 島

酒の害を防ぐ

T.1100

18年代 18年

り、からだを壊したりするなどのを察はれたり、仕事を怠けたこの緊張時に……酒のために でので、飲酒家にとても経館です。これ、下痢をせず、またアル中、高います、下痢をせず、またアル中、高います、下痢をせず、またアル中、高います。 でして大使中に排泄するのが特長でいりか、胃腸内の種々の有務物を吸いりか、胃腸内の種々の有務物を吸いがある。 の外です!

に対求、液質

發賣元餘时田 **邊五兵**衛商店



蘇無與雜 金正預捷

堅 對 絕 證式株 投券 0

機率の 大馬路を一直線に南間 一大馬路を一直線に南間 一大馬路を一直線に南間 一大馬路を一直線に南間 一大馬路を一直線に南間 一大馬路を一直線に南間 一大馬路に至る二四杯 一大馬路に至る二四杯 一大馬路に至る二四杯 一大馬路に至る二四杯 一大馬路に 一大馬路に 一路北走 一路北走 一路北走 忠忠魏降塔

(=)

轉援

合市公

店體

同聯

組務

合局

本電業支店前より南嶺忠魂神前迄八粁六〇〇米を二コースとす。 一手・1 ム三人を以て編成し一人、一コースとす。 ものとす、一人は一コーものとす、一人は一コースとす。 「選手の耽置は各チームに

けた響をかけ砂袋を自分の自動車に積みかへ出設 たる場合は自チームの補 欠と交代競走を譲けることを得 に 途中自興車に故障を生じたる場合は自チームの補 を生じたる場合は自チームの補 を生じたる場合は自チームの補 を生じたる場合は自チームの補 を生じたる場合は自チームの補 を生じたる場合は自チームの相 を生じたる場合は自チームの相 を生じたる場合は自チームの相

車 走荷 大重機

【香港出七日發國通】 蔣政権 はわが占領地區における金融 問題、特に上海及び廣東省の ため種々の工作を行つてゐる が、確報によれば、三月開催 が、確報によれば、三月開催 版東ポ て 市 して 民 廿四次

ストー年に至って廣東 一年に至って廣東 へんとする案を想 へんとする案を想 のかばれる も東 至明と後 その たもの た

決定

たものであるがわが廣東占領 の他の打撃により不可能 の他の打撃により不可能 で延長するの已むなきに

技

術 優 秀 9

號3五二三六 靴 店

友田 田

兵

昌久

話る一三一六番四十十四

| おが日本の探偵小説家で多く

連載漫画オーフシャン

長崎拔天

作

(東京) 青年の時間 (東京) 青年の時間 (東京) ラギオ時局 (東京) ラギオ時局 (下)

中の一九九八、 一九九八、 では、 一九九八、 では、 では、 のでは、 ので

(東京) ラデオド

〇(哈爾濱)北端の「東京」時報・ニュース解説

★紳士 方にも好評

根を傷めず、使心地頗る爽快

H.73

X

加里液とか測微器づきの寫真だして来る

日心光

於

ける

氏は應用化學科出身の工學士であるが恐らく氏ほど科學的な短編探偵小説を書いてある人は、他にあないであらうと思ふ、中でもその初期の作であることを利用した一事件を書き、その他「琥珀のパイプ」とか「血夜型殺人事件」

高太郎氏は「やはり臀厚博士 である、しかも氏は生理學の 先生である、生理學と云ふ學 のに、氏は

人命と結びつく探偵小郎を書くのに最もふさはしい「人生の阿呆」其他いろく 特徴として、讀者はその化學な作品があるが、氏の作品の作品のが表すましての作品のの作品のが、氏の作品ののとして、讀者はその化學

使はれてゐて、早 身でありながら、

早大電氣科

水すくないのは、

學

者

3

探

偵

小

說

料を用ひたものが多い、木々とか、題名を讀んただけでも

人間か をいひあてたり

醫學的分野における作

1

×

めることで

つとも影響を及ぼすのは という人の病氣に氣象が関係 のあることですが、最近氣象階 のあることですが、最近氣象階 のあることですが、最近氣象階 のあることですが、最近氣象階 のあることですが、最近氣象階 で、この關係が學問的にやう で、この氣象のうちで、も で、この氣象のうちで、も

庭



日頃の注意で防げ 事がよくあり かぎ カサ

3 すると大一つと叮嚀にするならば

富座の手雷として蜂蜜なりり といことではあります、それよりは

後にコールドクリームを一旦 すり込んで暫くしてこれを拭 ひとつた後に蜂蜜なりを強る ことです、それよりも不断に 居を粧はない自然の清々しさ 唇を続はない

謎ず

は日紅を塗り つなど

担実験判が向くとされる、歴史をやめ薬を用るたければ、原法としては冷水を擦を用るたければ には気分がよく 変するに低血壓は大して心配 特に心臓に故障のある人は注 を記るない。 ますっけたの

や酸の平衡との關系といった作用するものと考べられてのますが或る場合はホルモン

共に額が逆上せてほでつて
塞い時には足の方が冷えると一 唇 荒 無がけでなく、それには温 となれてゐる空 を、最近問題とされてゐる空 を、最近問題とされてゐる空 といは やうないろ。(のことが起る殺も非常に増加するといつた れてゐます

密接な關係がある 氣壓 ピ 病氣

また集中力が弱くなつて居眠 になり、交通事故が増加し自り就職試験でも受けようもの りが出、無暗に休みたくなつり就職試験でも受けようもの りが出、無暗に休みたくなつ 宇宙線も影響する

影響を與へるもので決して

汚れた中折帽

手輕な若返り法

れで認められ

では綿が着きますからガーセ では綿が着きますのに脱脂綿 初に脂汚れを落すのに脱脂綿 がに脂汚れを落すのに脱脂綿 ボミ取ります が関れる部分の油を丁寧に が関れる部分の油を丁寧に 更にキハツ油で除れな

山あります、實際に氣壓の強化するものとされてゐます、また婦人では 出産が氣壓の變化する時に澤

冬帽子はまだ富分は使ふの ですから手間をかけて若返ら、 せるより 4直くに出來る手當 ての方が必要でせう

先づリボンをはづして

殊に昔から健康な人が理由も

ふ氣聚のふ氣聚の

疲れ易

くない人があるない人がある に低血壓の人は 悸胸が 因は流感、肺炎などである、合より低いといはれ、その死の三分の一で高血壓の場

消化障碍を起す

の飲過ぎが悪

解が尖ら、頭痛、胸痛、消化 解が尖ら、頭痛、胸痛、消化 瞬間、めまひ、動悸、食然不 振、呼吸困難、便秘、ねむ氣 偏頭痛等を訴へ易く、常に血 壓が高くなるのを望む感じに 四はれる、血藍の動揺といふ ものは低血藍の人には生涯を そのまゝ保つ場合が多いのに でのまゝ保つ場合が多いのに は、殊に過勢や興奮でも低

大血壓患者の血壓は動かない、 をご多して低血壓が起るだらう 先づ擧げられるのは酸質の異常であり、健眠劑や煙草の連 中事はフイッシャー・マンク の人は の人は の人は の人は の人は の人は

(日曜火)

のものは主觀的にない、それない、それない、それない、そ

響、臭氣などに鋭敏となり易また 或る人は 感覺や 光や音

戲され易くなり

また事論を好み動作も荒





十八日(火曜日) 一新京 放臺局」 (大連) 経済市況 シス「鮮語」 シス「鮮語」

等の形で思ひの儘にとゝのへいな元へ、又好みに應じてッパを元へ、又好みに應じてッパを元へ、又好みに應じてッパ

等の形で思ひの儘にとこのを元へ、又好みに應じてツ

つて叩くのを繰返し綺麗になって叩き出しては毛並みに沿っていた後で挨ブラ

す、そして最後ことも自にとよの

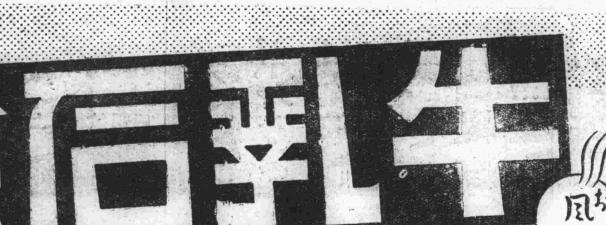
八、四〇 (大連) 朝の音楽 管絃楽 三、関郷曲 ニストラウス作曲 洋子

六二0

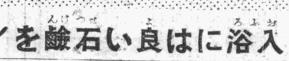
ァ 語講 ŕ 0 (哈爾濱) 初等ロシ 製木 新吾

七、三事項 





社會式株鹼石含進共 阪大



いつま活きくと になれば、お肌は になれば、お肌は 果的ですが、一番簡 には、 入浴 をの肌荒れ \*



なり毛髪の後背を素晴らなり毛髪の後背を素晴らなりの際洗髪はクラブカティ 曹 が吸收され菜養となるの かぐはしい血色です。 っな肌色! 林檎のやうないない。ですからクラブカ り美と若さの原なである美養素 があります。と







品質優秀





うに支那風景の寫眞を見いのんだ。夏枝の母は面にのんだ。夏枝の母は面

谷正

月

景の寫眞持つて來ましたよ」「おばさんお約束の支那風

「挨拶なんか抜きでいゝの

暑いのね、嘉男さん」

りく と祭しられた。ふと又 被笑さへ被ら宝のだつた。夏 を新聞を讀んでゐる様子があ と新聞を讀んでゐる様子があ

選正の満人得は廛と雑沓だ。 を調步する率公人達よ、正に を調步する率公人達よ、正に その道は君達の路だ。どろに まみれた馬車は身に飾りをま とひ此の街に情緒を深へる。 との此の音は君に最上の希望

を待つて居るのか、いや多性はないの性を表みつく、心は無駄事を想ながら私の前を完めているのが、独音性はない、心は無駄事を見て居るのが、いや多性を表のなるのだ。習慣を正りの指を楽し古いものを字樂する後に大腸を遠くはなれた。要は太陽を遠くはなれた。要は太陽を遠くはなれた。要は大場を決して浮世のを字樂する後になる。 この指の者であらうか。決して浮世の妻時を

は し歩む。しばし目前に二人連 の男女が浮いた。靴先を後にかへ の男女が浮いた。靴人を後にかへ で居るのが。今は何處で暮 して居るのか。陽光が西天に 彼等の打ち鳴らす笛太鼓の雪 がかすかに響いて来る。春風 がかすかに響いて来る。春風 がかすかに響いて来る。春風 がかすかに響いて来る。春風 であらり 自場の下から馬車に乗り側正 居る。そこなら好いであらり 自場の下から馬車に乗り側正 とにこ前に となったる光

成構此るな巧精

(意注何りわ物せに)

り誇の社我ぞ是

富豊庫在品分部其と車ムゴ

元賣發車ムゴスエービ

**建** 會 商 輪 明

軍

如

强

额

IZ

L

て軽

快

なる

車

(五)

と勇氣を示すのだ。と

寸急用があるの、

外ま

「あら嘉男さんですか、

それから一時間も經つたのか、早や靜かな部屋に往時計が九時を打つのが開えた。驀男は頭を上げながら

九時を打つのが開えた。嘉・年や静かな部屋に柱時計

お前を懐

4

「おばさん今晩は、又來ま

気がしますよ」 「僕は一ばんおばさんと話

戰

支

那

0

記

「近頃よく嘉男さん遊びに

なつちゃつた」

とてあるのが限についた。虫出たのは九時半を幾分廻つてあた。外にはあちらこちらに動歩客の浴衣の入れ交り往來

「お前に

「おばさん有難う、一寸夏

高い醪が夏枝の部屋から洩れ高い醪が夏枝の部屋から洩れ

で一緒に來てくれない」 「君枝さんお茶でもお になつては」

んお茶でもお上り

が出来たくつなり

こも私が弱いばかりに くつて」

てゐるの

かしてと云

れなかつれなかつれ

めても何等の感銘をも異へらた愛だのに、綺麗な星空を眺た愛だのに、綺麗な星空を眺えれ程まで小さい胸に燃え

返りながら獣つで入つて行つるた。二人は嘉男を一寸振りなセレナードが輸道に流れてとある喫茶店からゆるやか

年とすれ合つた時「嘉男」でつくりして「時」「嘉男」

年とすれ合つた時『嘉男さん』 びつくりして顔を上げた。 「正義さんだつたの、誰か と思つた。一寸夏枝さんの家 に遊びに行つて来た」 は「今晩は」簡単に挨拶したい、夏枝が近頃外出が多くなったと云つて母親がこぼしてるたよ」 ない

高男は何にかかばつてやり ・ は、気持だつた。一緒に肩を ・ たい気持だつた。一緒に肩を ・ たい気持だった。一緒に肩を ・ たい気持だった。一緒に肩を ・ たい気持だった。一緒に肩を ・ たい気持だった。 編れた花片のやうに弱々しい をいコーヒーをのんでゐた。 世分もたつたらう、連立つて 喫茶店を出た。丁度出口を出 た時だつた、入れ變るやうに 大つてゆく三人連に何心なく た、あらうことか君枝と夏枝 嘉男は別に語らうともせず冷湖れた花片のやうに弱々しいれたやらで面蓋ゆかつた。打 分の うで面差ゆかつた。打の悲しみが相手に知ら

うに强い 〈ショックを身に 前後の青年も一緒だつた。嘉 前後の青年も一緒だつた。嘉 いてゐた。「相手は僕を知つにか面白さうに語りながら步れ二は一向知らないらしく何れ」があるが、正義や然し不幸中の幸か、正義や たつた。悲しさで眼はの脳中は只悲しみと憤いやうぢやないの」

離れよう 獨言をつぶやき 悉しみに身も心もはこんなものからはこんなものから後から後から後から後から

た。さうして小りにひろんへとした 巌を眺めるの 、たのだと思つてどす黒い

ある、からした思ひは寡婦がその死んだ夫に對してのそれその死んだ夫に對してのそれなるそれ、それから情熱的なするそれを以てしてもその一萬分の一にも擬へられぬであらう。だが私は斯うした薬石よりも一層苦い滋味を味はひつくし、おとなしく運命が私のつくし、おとなしく運命が私のつくし、おとなりく運命が私のである。だが私は斯うした薬石とりも一層苦い滋味を味はひつくし、おとなりく運命が私

△ 菊池賞、徳田秋巖老に決定 日本文學振興會第一回菊池 電質《賞牌、副賞千圓)は 意は後の作家で昨年度力作 を多く發表した、四十六 歳以後の作家で昨年度力作 を多く發表した。四十六 最以後の作家で昨年度力作 を多く要表した。四十六 を多く要表した。四十六 を多く要表した。四十六 との作家で昨年度力作 重日

に一年を經たのである。

本社 東京市品川區大崎木町三丁目 電機製作所 大阪市北區金島道道「気ビル」

△滿洲婦人新聞〈二月二十一 大月號〉 大月號〉 大月號〉 大月號〉 大月號〉 (本強州婦會館、滿洲婦人新聞 (本強州神中央銀行調査課) 一本海洲神中央銀行調査課) 「在滿日本人の裝置」に連市東公園 「本滿州國の教育」に連市東公園 「大豆高價格抑制 「大豆高價格抑制 「大豆高價格抑制 「大豆高價格抑制 「大豆高價格抑制 「大豆高價格抑制 「大豆高價格抑制」 「大豆高價格抑制」

んに變に思はれたらと思ふとわざと元氣に胜つて部屋に入

本学な家庭関係の中に育つて、すつかりひねくれた性 がと思された。これは瑕蓮と言ふべきであらう。舞台も がと思はれた。これは瑕蓮と言ふべきであらう。舞台も だと思はれた。これは瑕蓮と言ふべきであらう。舞台も だと思はれた。これは瑕蓮と言ふべきであらう。舞台も だと思はれた。これは瑕蓮と言ふべきであらう。舞台も だと思はれた。これは瑕蓮と言ふべきであらう。舞台も でこの作品をつくり上げてゐる。最後に主人公が酒に逃 避するあたりは些かイィジイゴウインがな結末のつけ方 だと思はれた。これは瑕蓮と言ふべきであらう。舞台も でのタイプもはつきりと書きわけられてゐる。 作者はこの作でその文學修業の成果をよく示し得たと 「言ふべく、近來の好感を以て讀める作品の一つに數へら れる。

それは冷たい言葉だつた。 先に部屋に入ってしまつた 北れたやうに心痛かつた。 悲しみざへも湧いてくるのをどうすることも出来なかつた。 いつそこのまゝ歸つてしまはらかと思つたが優しいおばさんに變に思はれたらと思ふと わざと元氣に難つて部屋に入

た。「習俗記」と

いふ題名は些か襲り過ぎてゐると思はれ

が子供

(『モダン満州』]月號)-佐々木勝造「習俗記」

佳作

た、嘉男も浮かぬ顔をしながらきまり悪げに二人の後について入つた、甘美なメロディー情熱のタンゴ。

だつた。

正義は氣づか

だいらうか! もう一度自分を がつたりと机に打伏せてしま なかつた。家について嘉男は なかつた。家について嘉男は なかった。家について嘉男は

微風は風蓬の顋勝を打つて私あつた江水は沿々として流れのでるた晴朗な一日が隠約たいであた晴朗な一日が隠約たいであた晴朗な一日が隠約たいであた。

江に泛べ朝霧が江岸に沿ふた 山頂をとざし炊烟は一帶の蒼 老たる柏木をめぐつてゐるを 見遠寺の鐘響、つよいて二三 別の晨鶏が瞭に唱ひ、村の犬 が吼えるのを聴いた、そして 朝の陽光が朝霧をパッとひら き、山物から漏れて來る光芒

地肌が久し振りに 君い空 なごやい 早 馬車の轍 めて

のにでいな風である。な記憶 路は泥濘となった。 いな風 日が射すと、 がな風 日が射すと、 2 9

p

そつと 窓を閉める。 基かな 夢を育てるためへ 私は窓を閉ける。 れた悲しみを 隠す

藝消 小舟は二百里 した江流か私 であるのであ 息

生

直沒

たなしく踏み過ぎた足跡がある。私は曾つて鬱かに富春江の畔りに獣坐した、江にむかつて見え際れする山峰が白雲望み、沙鷗が蘆葦を掠め、茂望み、沙鷗が蘆葦を掠め、茂望み、沙鷗が蘆葦を掠め、茂つた柏嶺の中に飛び込んだりまたバタバタと江の面に飛びかへつて小魚のやうなものを動へて飛び去るのを見た。 た。愛すべき蟹土の何處にもこの長い一年の間に、私の 架

男 々 特 署、上 報 と 青 島、 漢 南、 天 非

支 總代建店

昌店

和天

璐

そこにまかれてゐる地いつば であつた、一片の風帆を異樣 に明るく照らし三、四羽の小 能が帆のまはりをくる ( 飛 んでゐた、挑み、追ひ、金色 の光の潮の中を升降してゐた

印印 御注音

堂海大崎岩 子菓ンメセ



H 划港 を 丸 一度服用す ◎支店 二十年來岩尾家傳義 数 物 臓 器 薬の醫學博士實驗推獎 古屋·翁 立花大棗房 







頭の進んだ人なら……フレン 「内服薬に殺菌力なし」と學説を殺 本ると去ふ事が頭にゼンと來る告 は地殖し高熱と相俟つて淋菌を皆 は地殖し高熱と相俟つて淋菌を皆 は地殖し高熱と相俟つて淋菌を皆 は地殖し高熱と相俟つて淋菌を皆 は地殖し高熱と相俟つて淋菌を皆 は地殖し高熱と相俟つて淋菌を皆 は地殖し高熱と相俟つて淋菌を皆 は地殖し高熱と相俟つて淋菌を皆 はあたらない。試みに十十ト電 は地殖し高熱と相俟つて淋菌を皆 しまふ。而もこれは自宅で人知れ しまる。一となる事が頭にゼンと來る筈 あると、こゝへ頭が來れば淋菌は少 としまる。一となる事が頭にゼンと來る等 ある。

金貳拾円

1

2

が治せ

3

を使えている。 を使える。 をでは、 をでした。 をでした。 をでも、 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

、強の性透滲膚炭で用作の)モルボ

シワタルミ・・ 際防はもおろん 般皮膚障害の

れす大賞を閉皮のケヤ等・レア肌 ブラク っすまるてつなになんこと 以ぐすでンモルホのムーリク身美 すまきでに肌な厳健たしまもに歯

200 リコホに孔氣とる誤を當手の構皮

腐皮りまたにうやのこがラブアや ラクぐす oすまりなと因原の容験 なをデーサツマでムーリク身美プ oいさたくてつき

のもたし大猫を滑皮な原機はれこ 使おをムーリク身美プラク o すで なにうやのこもで方難はれなにひ ・すまりなに痛皮いし美なからめ

ホルモン マッサーチ法

ルモンによらねば、持續的な岩返り効果は期待で

際皮膚の健康法を根本的に改善して皮膚の健康を一層冷進して下ひで直ぐにも肌アレをするここになるではなりませんか!この

に塗つたこころで、水仕事や洗顔をなさつたぐら きるものではありません。異純な油脂なごを皮膚

銃後女性は 日本女性の肌を基別にした健康化粧 た化粧アがりはさすがビー目もかっ されぬクラブ式身ダシナミたとごこ されぬクラブ式身ダシナミたとごこ 健康化粧

クラフホルモンの威力 防ぐことは妙です……
防ぐことは妙です…… 間)試験せる子發育産量比較表注射内服(各一日二回・五〇単位統十二日特許の綜合ポルモンを幼若ラツテに、連携 注 途 射 擦 門服 mæ.

フブ美身クリームは獨特の殺闘築理作用を兼ねてゐます。肌アド すぐホルモンが皮膚の内部に豊かな繁養こなるのです。その上々

は更に更に達透力が強くなつたのです。ですからお使ひになれば

を防ぐのはもちろんのこことと、シモヤケなごにかいるうれひが

なくなります。すぐお使ひ下さい。

くては冬が越せないこまで……愛用してゐらつしやいます。 左の アレ、シワ、タルミ其他ヒビ、シモヤケの常習の方々はこれがな

クラブ美男クリームをお使ひになつてゐらつしやいますか?

實験表をご覧になれば判るやうにクラブ美身クリー

ムのホルモゼ

はいないない。 一二回ばくなり、からくりした をしい傾になります。 美しい傾になります。 美しい傾になります。 大れてマツサーデし オすっ(八回ー十回 の輪節をひをしめます。

クラフい自動



フでうんなに選ふ

をとり吉林省保健科に現地調をとり吉林省保健科に現地調をとり吉林省保健科に現地調をを放棄、天然痘國都侵入防防部落で催君の實家は十九人が表演があるが、うち九人が表

建國週間行事中市民慶配の夕日 は三月一日滿人を對象とせる 第一會場(協和會館)と日人を 對象とせる第二會場(西廣場) が、協和會第四幹事會主催の が、協和會第四幹事會主催の が、協和會第四幹事會主催の

・ 数ありサービスに遺憾の點が に三月一日より満入郵便配達 は三月一日より満入郵便配達 十餘名、らち日本人は三百二十名 十餘名、らち日本人百二十名

は各種の観點より再檢討が行の週ブロック内輸出開限問題

を持たれてゐるものである
を持たれてゐるものである

」 范市公署行政處長國第七周年記念日を迎

亡れ名に

(自曜火)

殿下

御祝電

**態影なき沿線** 

ス場無料、一般市民多数の來 特を希望してゐる、尙當日は 各戶にR滿兩國族を掲揚し、 午前十一時より一分間吹鳴す る市內サイレンを合圖に全市 を開展の英靈に對し默疇を捧

が

客の文句

の出場所

會體聯に

特別委員

H 3000

談言(?)に の愛息よりの の愛息よりの

業カアエし

各戸にB繭兩間 「見えざる熱 「桃花扇」 「桃花扇」

先づ

院參謀總長

少貴 同 十八日 同廿 日 柱彬 同 十五日 同十二日 玉柱 同 十五日 同十二日 小二日 同十二日

られては満洲國の防共協定正 式加盟に對し計七日大要左の 如き鏖親電を植田軍司令官宛 御打電あらせられた

せんことを祈つてやまないとなる出四日友邦滿洲殿が跨建版のために活躍し以て東が益々競展を遂げ世界防共、海盗を強展を遂げ世界防共、海流を、特來とも滿洲政・大学のことを新のために活躍し以て東、海流を、特殊とも満洲殿が跨

宛 北支鐵道愛護村一行入京 北支鐵道愛護村一行入京 東新京驛龍列車で來京福順域に る、驛頭決輪愛護村長は左の 東 率され、廿七日午後四時廿分 一日離京哈爾濱に赴く筈であ 東 率され、廿七日午後四時廿分 一日離京哈爾濱に赴く筈であ 東 率され、廿七日午後四時廿分 一日離京哈爾濱に赴く筈であ 東 率され、廿七日午後四時廿分 一日離京哈爾濱に赴く筈であ 取 ※ 第京驛龍列車で來京福順域に る、驛頭決輪愛護村長は左の い 投宿した、一行は廿八日午前 如く語つた

西 れたが、配達人の中には未だ「樂の宴に超減員ホクくの狀」次月 一般郵政事務は著しく改善さ こを吹くかと文字通り夜毎歌 面 番客足の少い受難月とされて 備 番客足の少い受難月とされて 備 番客足の少い受難月とされて 備 番客足の少い受難月とされて 備 番客足の少い受難月とされて 備 番客足の少い受難月とされて 備

態にあるが、更に櫻花季節を 地へで業界は一段と活況を呈 が高に取締上の問題についても ある、然しからした好況の反 ある、然しからした好況の反

で捲き起す醜場面がしばく てク料理が高いペク姿の知ら ないことよ々と折角の歌樂も 最後のどにん場で一朝の夢と なり遂には口ぎたない紛爭ま

種は常に盡きないのである。

補別國體育聯盟では二十七日 理事會を開きかねてより懸案 であつた特別委員會設置に關 であつた特別委員會設置に關 権の撤嚴及び減鐵附屬地行政 權の移讓に伴ふ運動競技者の 記念品贈呈の件を協議方の 記念品贈呈の件を協議方の

味を満喫してゐたがさる日曜 理事▼日曜ごとに雉打ちの仲 かねた滿鏡新京支社長の平島

くじいてすつか

=

7

V

日に誤つて兎

屋根なき

國都

難深刻

格七十二圓)

文をうけれてかけ

國防献

金

# 立工でを喰ふ

國都新京の家賃は東京に比べて三倍以上の高値だが、この 高家賃の住宅さへもなか ( 空き手がないといふ有様で國 都人口の増加率に比例しない 建築界の緩慢さは國都市民の 住宅離に愈々拍車をかけて日 く「首都警察とか市公署あた りで何とか家賃値下げに乗出 さないものか」曰く「房産な どは會社に有利な代別官舎ば かり造つてゐずに一つ民間別 の住宅も建ていはどらか」と

事あ

す

建國記

念

B

間記始念

る週

今度は

天然痘

國都を窺ふ

建國の英霊默禱

はれてゐるが、 では日本商工会 これが影響を聖 七日午後二時 人側各種業者が

要 とも属へつけを怠り、のみない。 ・ に高低があるが如き不統一が 類明、これが紛争の原因とも がなる一つとも見られ、黒岩楓 がなる一つとも見られ、黒岩楓 がなる一つとも見られ、黒岩楓 があるが如き不統一が

意見の交換

公菜者の参集 4り同公會に満

来道卓球戦とも 新京代表情敗 新京代表書道有段者團體 北が、新京代表選手は優勝戦 たが、新京代表選手は優勝戦 に於て開催され にご對一で昭和製鋼所に情敗

各戸に脳兩國旗揚揚

解し得ない者である

圓ブロック貿易の

緩和を要望

した 協會主催第一回全輪女子硬 場した新京矢崎錬は優勝戦 は一旦全輪女子硬 場した新京矢崎銀は優勝戦 は一旦全輪女子硬 は一旦全輪女子硬 は一旦全輪女子硬

創立

昭大

生部大臣

支配動務改正 実配動務時間は三四時までに改正される

ン{卒前よ}合圖に

具今到着したばかりで何んとも申し上げられませんが この一行は途中鐵道沿線に この一行は途中鐵道沿線に が一人も出ない事をき いて驚いてゐました、王道 要土を旨のあたり見せ、歸 ですから成るべ く廣範園に宜つて視察した いと思ひます【寫眞は驛頭 の一行】

一洗濯屋盗難二件 市内富士町三ノ六蝶屋洗布所の外交員赤田一馬沿は二十六 日午後二時ごろお得意先から 預つた洗濯もの(洋服、お召

市内吉野町二丁目十三番地料 亨南海の女主人吉本イシさん は先頃實弟佐野近次氏を亡ひ 二十七日その忌明に際し、香 奠かへし等を行ふ筈のところ 関防献金を行ひこれに代へた しと同日金百圓を本社へ寄託 から寄託 料亭南海主人

一数(格七十二國) を自轉車 に乗せて説町三二の路上に立 てかけ五分間ばかりの小用の 間に自轉車ごと何者かに持ち 市内東二條通三六長崎屋洗 市内東二條通三六長崎屋洗 市内東二條通三六長崎屋洗 で自轉車を中央通中央ホテ の戸 縮忘れ ル前自調車置板 からぬ 洗濯屋の ならぬ たっぱん してるる ちゅうしゅう 盜 屋の外交負達は大を取つて歩かねばを取つて歩かねばを取って歩かねば



郷一○八號居住、店員王鴻 (三八)は熟睡中窓硝子 貴(三八)は熟睡中窓硝子 を破壞侵入した敷に現金五 十)、類付のオーバー(時 價二百圓)その他計三百圓 餘を窃取さる 会署土木科储人張延俊(三 五)は十七日午前九時頃か 5十二時までの間不在中去

電 3839

日午後七時十分頃梅ヶ枝町一 丁目一條アパート五階の物電 まり設火、同三十分鎮火し たが、原因は煙草の火の不始 たが、原因は煙草の火の不始 まから物置場に積まれた高梁 で、一下は一下が、原因は煙草の火の不始

السع

後品再生利 | 一

用勵

標

話

懸賞募

集集

三月

8

獲場市町衣羽連大 借五九八一③表代話電

満鐡新京支祉では社員の體位 向上及び社員會體操の普及徹 底をはかるため三月一日より 一ヶ月間支社全員参加玄陽前 度場で社員會體操を實施する ことになつた 滿鐵社員會體操

第二部 「一般品」 西第二部 「一般品」 西第二部 「一般品」 西第二部 「一代用品展覧會」 を

集す。 開催する

普及徹底を圖がれることを得ることを得ることを得る。

| 題音を直載簡明に最も強く表現す
| 再生利用」の各標語
| 品使用獎勵] の各標語

ると

▲五島路六合屯一條初同五一 ・計六日午後七時から十一 ・計六日午後七時から十一 ・計六日午後七時から十一 ・計一、日午後七時から十一 ・計一、日午後七時から十一 ・計一、日午後七時から十一 ・計一、日午後七時から十一 ・計一、日午後七時から十一 ・計一、日午後七時から十一 ・計一、日午後七時から十一 ・計一、日午後七時から十一 ・計一、日午後七時から十一

新築五階建!

理想的近代設備

日の評議員會席上で贈呈する ▲スケジュール委員會 共金次▲審判制度委員會 共金次▲審判制度委員會 表員長 齊辰雄、幹事 村太市▲計畫委員會 委員長 齊辰雄、幹事 村太市▲計畫委員會 委員長 齊永武、幹事 河村泰 長 鈴木武、幹事 河村泰 長 鈴木武、中事 河村泰 長 鈴木武、中事 河村泰 長 鈴木武、中事 河村泰 長 鈴木武、中事 一郎氏上 勝一氏、小數賀源 0 村 西

賞期

副賞「名譽副會長特許發明局長賞」壹個第一部。第二部。各五名 五國宛第一部。第二部。各五名 五國宛第一部。第二部。各五名 五國宛

廣告 電話(3)三三

志望學科 建築科

0

第二學年 第三學年 第一學年 口頭試問 作文、代数、 算術、 口頭

號快全息肺

封入申込のこと 和和八年 周無は滿洲切手二錢或は二錢切手引換条 月二日午前十時(日曜日) 月二日午前十時(日曜日) 限 四ケ年 (夜間) 三昨名年 の卒業者敷四

願修書業

締年

切限

年七十第號 月三

新京特別市大經路

非常時局下 國策線に沿 か T

御用命を呼ばる一回 古タ 願生焼 上げます ヤ機トを の販賣を開始 を新品 夕 しましたどし 1

▼本社特設一回處タイヤー再生機

タイヤー の全身を一度に加熱しますから

流化温度が平均します

ウイヤー のセンターが絶體に正確で歪を
生することはありません

四回焼 の欠點である機目に膨點が絶體に生
じません

の特質 △

クイヤー のセンターが絶體に正確で歪を
生することはありません

四回焼 の緊縮は砂袋を用ひるため、エムの
密情不充分なるも一回端に於ては空氣壓縮ですから
内壓はタイヤーの全身に充分に且つ平均されま
すのです人の審着は勿論耐久力は増大します

一温 度 の調節が自由ですからキャンバスの
製れを起したものも修理出来ます

仕上り出いは新品と殆ど製りなく優美にして
クッションは快適であります

付上げ に要する時間は四回端の四分の一で
すからそれだけ早く御手許に差上げられます

新京特別市羽 自 動 9 本事 株

賣買

七六

五

電話①二

並チ目

7

理

南の風晴 低零下一四度, チタ中業 11百 1ヤタ務ブレイ務 修再ヤ種理生

央本部長招宴に臨んだ、青少年團の結成箇所は全部で九十 京縣で三月一日結成されるも のは青年團六十萬、少年團廿 萬で本年中に百萬人の青少年 團結成を實現せしめることへ なつた、決定せる重要問題は 務長會議重要決定事 青少年團結

實

現

百

縣) 然河省(五縣) 安東省(四縣) 統四省(七縣) 治江省(八鄉) 音林省(八鄉) 音林省(八鄉) 音林省(七縣) 大學, 音林省(一縣) 三 (五縣) 被溪、 大學, 一 (五縣) 一 (五條) — (五條)

電給部次長より説明された國 大綱は左の如く、平 場合思想観のトーチカとし、 協和會とタイアップして全國 の配給網を總動員對處すると いふ減映としては從來みられ なかつたやらな積極的且つ企

に協力

在度協和會工作。 本度協和會工作。

会しています。 かして四月頃より全議に配 が正常版統一し協和會と協 部三十五ミリを十六ミリ登 部三十五ミリを十六ミリ登 の策的に必要なる映畵は全 と女中君を連れて支那料理で と女中君を連れて支那料理で たかも上映寫質は問題の名書 たかも上映寫質は問題の名書 たかも上映寫質は問題の名書 をなると人一倍母親思ひの同氏 なると人一倍母親思ひの同氏 をしてゐる本年七十七 ではいら深が止めどなく流れ をしたからと出て行つた▼維打ち

三作方針指示息

原一揆の落武者なぞ、各地に借伏 地域の落武者なぞ、各地に借伏

に溶け復るであらうか?

好みに合づた匂ひ 調合してあなたの オリヂナル香水と るよい薫りですが それらく個性のあ

のよき趣味です を創る事も近代人

だが、賢明な家光であった。

果して、もとの伯父、郷の親しみんで解けない家光辞泉の気持は、

「揣者とて、何しに長七郎岩を、

扱露した上。

大七郎若には、南非無恒の徒と交流の大利益な事例が設生したそのよ。

「長七郎を捉がつたは、余の間り

るが、不行の豆分が、徳川

まうとする家光の戦中は、時はず 大納雪の漫子としての標識を興へたのであった

常式安藤井筒 水天宮前

堂

全野樹商店

白米香體

安東非

撫順、 米

新京莲

さすがに暗涙を

張祖學事性なぞ、 果肉長七郎若に
 失。引つづき能引ヶ谷御殿野將軍

たま上州高崎に於けるお職付の紛沈

と、柳生信馬官とから、この話を

取った観次即の密費を、一両の腔は得手でない。

してゐたものだ。

から下げるものだ」といって冷笑

けであつた。長七郎に對して、結

既に口を開いてるた。

線だのと願ぎ立て、長七郎君にビ を困つたものだ。隠密だの、暗跡

オリヂナル

スミン

トローブ

オレット

かういふ 断引になると、 彦左衛門・チェッ 忌々しい」 と思つたが、

**彦左衛門** 

**気なくて、徳川幕府の健康を、我りどりしてゐる所は、あまり大人** 

は、どうか、戦時お戦へを願ひた 明さうと存じ困つた矢虎へ。 御老

ひ出すか、從つてそれも、能く分 とそばゆい。色左衛門は、

節門のために、 いめの一本、ポンたら何を言ひ出すか分らない恋左

扱け目のない伊豆谷。既つてる

種の藝術的調合で は世界の名香三十 原料香水オリデナル

その中には世界第一

「南洲堂で 電3 五一三六番

九八雪3六〇四一番

(A)

膝。

栗,

日日第內

タイピスト生徒 音沼タイプ綜合教授 日本タイプ綜合教授 音沼タイプに合教授 音沼タイプライター 南洲直資所 南湖タイピスト県院 電子四四五五二番

「天下の一大事と時すは、余の機 辯舌滔々 (二百七十五) 上海

さらいつて、心左節門は、側ののお別の上でどざるが……」 ちぬ、質は、松平長七郎君 の創世安聚を表ふ心の萬分一

登城の途中での、あの出来事が 失ったは残念なれど、長七郎野に失ったは残念なれど、長七郎野に 二心なきととさへ明かとなれば、 り出でしことで。可借家來一 の上の裏びやある。家菜一人を

今辨慶整 骨院

上 思 給

恩給金庫

個何ひ致します

はを押つてやらうと、手具脚引い た。彦左衛門、泉刻に取られて眼 節が深々、能みなくやつて過け \ ◆日こそ。

ちょつと田藤を抱かれ 初から、伊豆守の行動に戻場し ·····』と、腹は立つが、�でブリッテ煮ても嫌いても喰へぬ伊豆皆いても喰へぬ伊豆皆 同じ閣舎の中でも、しつかり者 

帳簿專門

講る山田へ上

タイプ印書 膽寫・
・ 立条

トラックに依る 

人を求めたき者共に本合へ 大船町四丁日五 **配用** というこれの八堂

宋松接骨院 はゆつざ 央通り 中小商工金融 輕便迅速

東省實業株式會社

[[在所 新京特別市大同大街四〇六號

東拓ビル内 (電2四九一七)

清髙

酒級

潇

洲

新京櫻屋

商店



新京東京

(賃)自動車車庫 と成組自動車車庫

サック 悪化し易く用 多し御出は専門の當店に限る 察士町ニノー四 「となさざる品

お茶と

カメラ 修理

東 親 三 三 三 三 三 三 三 三 二 二 九 〇

大和通四六ノニ 電話及金融 融即時・長期秘密

三友社

電話3 三四二四

(製用の方は) 荻本電話店

印刷及帳薄



特効藥安心散 日本タイプライター株式會社 新京朝日通八十一電話 3338

D窓 D1 t刀 親

乳もみ専門 清水堂鍼灸院 3六七二七番



釀造發賣元

瀟洲國新京

洲

酒

造

合

名

會

社





全満主要都市百貨店及藥店にて販賣す



一 美しい機機 酷~べき 出足と快速 四ちよ

誇

0

士

製調殊特

店商 H 社會式株









養 经 座